

2023年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年8月5日

上場会社名 ミネベアミツミ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6479 URL <https://www.minebeamitsumi.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長執行役員 (氏名) 貝沼 由久
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 湯谷 淳 TEL 03-6758-6711
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	251,040	1.1	14,255	△27.4	14,274	△27.2	10,742	△26.6	10,734	△26.8	35,746	207.5
2022年3月期第1四半期	248,305	32.5	19,628	475.7	19,603	490.6	14,642	548.2	14,659	561.6	11,625	22.5

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
2023年3月期第1四半期	円 銭 26.43	円 銭 26.02
2022年3月期第1四半期	36.11	35.30

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,204,888	569,931	567,001	47.1
2022年3月期	1,104,192	541,435	538,610	48.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2023年3月期の年間配当金につきましては、連結配当性向20%程度を目途に決定してまいります。

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	568,000	7.1	41,000	△8.1	30,000	△14.4	73.86
通期	1,200,000	6.7	102,000	10.7	76,000	10.2	187.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	427,080,606株	2022年3月期	427,080,606株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	20,905,301株	2022年3月期	20,934,199株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	406,155,916株	2022年3月期1Q	405,965,109株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(アナリスト向け決算説明会資料の入手方法)

2022年8月5日(金)に、決算説明会資料を当社ウェブサイト(<https://www.minebeamitsumi.com/>)に掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
要約四半期連結損益計算書	6
要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)のわが国の経済は、新型コロナウイルスによる行動制限の緩和により景気の緩やかな持ち直しの動きが見られましたが、原材料価格の高騰、急激な円安進行による物価上昇により、景気の回復は限定的となりました。米国経済は、物流の供給制約の緩和により経済活動の正常化は進みましたが、インフレ抑制のための積極的な政策金利の引き上げもあり、先行きが不透明な状況が続いています。欧州経済は、ウクライナ問題によるロシアからの天然資源の供給減の影響で物価が高騰し、景気は後退しました。中国経済は、新型コロナウイルス感染拡大による厳格な行動制限により経済活動が停滞していましたが、活動制限緩和により内需は緩やかに回復しております。東南アジアにおいては、新型コロナウイルスの影響下での経済活動の再開を背景に、景気は回復傾向となりました。

当社グループは、かかる経営環境下で、収益力のさらなる向上を実現するために、徹底したコスト削減、高付加価値製品と新技術の開発及び拡販活動に注力してまいりました。

この結果、売上高は251,040百万円と前年同期比2,735百万円(1.1%)の増収となりました。営業利益は14,255百万円と前年同期比5,373百万円(△27.4%)の減益、税引前四半期利益は14,274百万円と前年同期比5,329百万円(△27.2%)の減益、親会社の所有者に帰属する四半期利益は10,734百万円と前年同期比3,925百万円(△26.8%)の減益となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、会社組織変更を行った結果、「その他」と「調整額」で一部区分を変更しております。前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の区分に基づき作成したものを開示しております。

機械加工品事業は、当社グループの主力であるボールベアリングのほかに、主として航空機に使用されるロッドエンドベアリング、ハードディスク駆動装置(HDD)用ピボットアッセンブリー等のメカニカルパーツ及び航空機用のねじが主な製品であります。主力製品であるボールベアリング、ロッドエンドベアリングは、航空機関連の需要増により売上高は増加しましたが、ピボットアッセンブリーは、HDD向けの需要が減少したことで、売上高は減少しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は46,380百万円と前年同期比2,290百万円(5.2%)の増収となり、営業利益は10,198百万円と前年同期比720百万円(△6.6%)の減益となりました。

電子機器事業は、電子デバイス(液晶用バックライト等のエレクトロデバイス、センシングデバイス(計測機器)等)、HDD用スピンドルモーター、ステッピングモーター、DCモーター、エアームーバー及び特殊機器が主な製品であります。主に液晶用バックライトの需要が減少したことにより、売上高は減少しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は81,446百万円と前年同期比8,989百万円(△9.9%)の減収となり、営業利益は197百万円と前年同期比7,689百万円(△97.5%)の減益となりました。

ミツミ事業は、半導体デバイス、光デバイス、機構部品、電源部品及びスマート製品が主な製品であります。半導体デバイス、カメラ用アクチュエータの光デバイス等が好調に推移し、売上高は増加しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は86,814百万円と前年同期比10,061百万円(13.1%)の増収となり、営業利益は9,124百万円と前年同期比4,039百万円(79.4%)の増益となりました。

ユーシン事業は、キーセット、ドアラッチ、ドアハンドル等の自動車部品のほかに、産業機器用部品が主な製品であります。自動車部品は半導体不足による自動車生産の減少に伴い需要が減少したことにより、売上高は減少しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は36,038百万円と前年同期比831百万円(△2.3%)の減収となり、営業損失は342百万円と前年同期比259百万円の悪化となりました。

その他の事業は、自社製機械が主な製品であります。当第1四半期連結累計期間の売上高は362百万円と前年同期比204百万円(129.2%)の増収、営業損失は364百万円と前年同期比171百万円の改善となりました。

上記以外に、各セグメントに帰属しない全社費用等4,558百万円を調整額として表示しております。前年同期の調整額は3,643百万円でした。

(2) 財政状態に関する説明

① 財務戦略、資本政策の基本的な考え方

当社グループは、「財務体質の強化」を主要な経営方針とし、効率的な設備投資、資産運用及び有利子負債の削減等に取り組んでおります。高収益のコア事業への比重を高めるポートフォリオ改革や実効性の高いM&Aを実現し、適切かつ機動的な財務戦略を推進いたします。

② 資産、負債及び資本の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1,204,888百万円となり、前連結会計年度末に比べ100,696百万円の増加となりました。その主な要因は、棚卸資産、有形固定資産の増加であります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は634,957百万円となり、前連結会計年度末に比べ72,200百万円の増加となりました。その主な要因は、社債及び借入金の増加であります。

なお、資本は569,931百万円となり、親会社所有者帰属持分比率は47.1%と前連結会計年度末比1.7ポイント減少しました。

③ キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は141,175百万円となり、前連結会計年度末に比べ22,413百万円減少しました。

当第1四半期連結累計期間の各活動におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、7,314百万円の支出（前年同期は12,317百万円の収入）となりました。これは、主に税引前四半期利益、営業債権及びその他の債権の増減、棚卸資産の増減、営業債務及びその他の債務の増減等によるものです。投資活動によるキャッシュ・フローは、77,961百万円の支出（前年同期は10,731百万円の支出）となりました。これは、主に新本部ビルの取得を含む有形固定資産の取得による支出等によるものです。財務活動によるキャッシュ・フローは、55,669百万円の収入（前年同期は7,847百万円の支出）となりました。これは、主に短期借入金の増減等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月11日の決算短信で公表いたしました2023年3月期通期の業績予想に変更はありません。

	第2四半期連結累計期間		通期	
売上高	568,000百万円	(7.1%)	1,200,000百万円	(6.7%)
営業利益	41,000百万円	(△8.1%)	102,000百万円	(10.7%)
親会社の所有者に帰属する当期利益	30,000百万円	(△14.4%)	76,000百万円	(10.2%)
() は対前期増減率				

(4) 利益分配に関する基本方針及び当期の配当

当社は、株主に対する利益還元を経営上の重要事項と認識しており、経営環境を総合的に勘案し、継続的に安定した利益分配を維持しながら、株主資本の効率向上と株主へのより良い利益分配を第一義とし、業績をより反映した水準での利益還元をはかることを基本方針としております。

上記基本方針に基づき、前期の配当につきましては、中間期に18円、期末に18円の1株当たり年間配当36円を行いました。

当期の中間配当金、期末配当金に関しましては、連結配当性向20%程度を目処に決定する予定です。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	163,588	141,175
営業債権及びその他の債権	240,822	220,074
棚卸資産	219,308	264,408
その他の金融資産	23,320	19,623
その他の流動資産	19,084	32,020
流動資産合計	666,122	677,300
非流動資産		
有形固定資産	336,385	423,648
のれん	42,865	43,347
無形資産	17,790	17,698
その他の金融資産	21,627	20,820
繰延税金資産	12,844	15,482
その他の非流動資産	6,559	6,593
非流動資産合計	438,070	527,588
資産合計	1,104,192	1,204,888

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	170,854	173,523
社債及び借入金	164,866	233,258
その他の金融負債	14,342	22,596
未払法人所得税等	11,129	7,329
引当金	2,648	2,143
その他の流動負債	51,318	46,074
流動負債合計	415,157	484,923
非流動負債		
社債及び借入金	105,845	104,454
その他の金融負債	14,395	17,212
退職給付に係る負債	21,100	21,906
引当金	1,892	1,736
繰延税金負債	1,605	1,705
その他の非流動負債	2,763	3,021
非流動負債合計	147,600	150,034
負債合計	562,757	634,957
資本		
資本金	68,259	68,259
資本剰余金	140,102	140,109
自己株式	△43,964	△43,911
利益剰余金	320,755	324,182
その他の資本の構成要素	53,458	78,362
親会社の所有者に帰属する持分合計	538,610	567,001
非支配持分	2,825	2,930
資本合計	541,435	569,931
負債及び資本合計	1,104,192	1,204,888

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

	(単位：百万円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	248,305	251,040
売上原価	198,966	202,581
売上総利益	49,339	48,459
販売費及び一般管理費	30,135	32,739
その他の収益	1,165	1,061
その他の費用	741	2,526
営業利益	19,628	14,255
金融収益	512	463
金融費用	537	444
税引前四半期利益	19,603	14,274
法人所得税費用	4,961	3,532
四半期利益	14,642	10,742
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	14,659	10,734
非支配持分	△17	8
四半期利益	14,642	10,742
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	36.11	26.43
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	35.30	26.02

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期利益	14,642	10,742
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	751	68
純損益に振り替えられることのない項目 合計	751	68
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△2,259	32,190
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△1,509	△7,254
純損益に振り替えられる可能性のある項 目合計	△3,768	24,936
税引後その他の包括利益	△3,017	25,004
四半期包括利益	11,625	35,746
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	11,644	35,641
非支配持分	△19	105
四半期包括利益	11,625	35,746

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動 体の換算差額	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジ
2021年4月1日 残高	68,259	139,456	△39,166	265,417	14,541	△676
四半期利益	—	—	—	14,659	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△2,257	△1,509
四半期包括利益	—	—	—	14,659	△2,257	△1,509
自己株式の取得	—	△11	△2,085	—	—	—
自己株式の処分	—	1	0	—	—	—
配当金	—	—	—	△8,947	—	—
利益剰余金への振替	—	—	—	505	—	—
所有者との取引額等合計	—	△10	△2,085	△8,442	—	—
2021年6月30日 残高	68,259	139,446	△41,251	271,634	12,284	△2,185

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本の構成要素		合計	非支配持分	資本合計
	その他の包括利益を 通じて公正価値で 測定する金融資産	合計			
2021年4月1日 残高	3,310	17,175	451,141	2,857	453,998
四半期利益	—	—	14,659	△17	14,642
その他の包括利益	751	△3,015	△3,015	△2	△3,017
四半期包括利益	751	△3,015	11,644	△19	11,625
自己株式の取得	—	—	△2,096	—	△2,096
自己株式の処分	—	—	1	—	1
配当金	—	—	△8,947	—	△8,947
利益剰余金への振替	△505	△505	—	—	—
所有者との取引額等合計	△505	△505	△11,042	—	△11,042
2021年6月30日 残高	3,556	13,655	451,743	2,838	454,581

(単位：百万円)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動 体の換算差額	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジ
2022年4月1日 残高	68,259	140,102	△43,964	320,755	50,353	△568
四半期利益	—	—	—	10,734	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	32,093	△7,254
四半期包括利益	—	—	—	10,734	32,093	△7,254
転換社債型新株予約権付社債の転換	—	7	53	—	—	—
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—
自己株式の処分	—	0	0	—	—	—
配当金	—	—	—	△7,310	—	—
利益剰余金への振替	—	—	—	3	—	—
所有者との取引額等合計	—	7	53	△7,307	—	—
2022年6月30日 残高	68,259	140,109	△43,911	324,182	82,446	△7,822

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素		合計	非支配持分	資本合計
	その他の包括利益を 通じて公正価値で 測定する金融資産	合計			
2022年4月1日 残高	3,673	53,458	538,610	2,825	541,435
四半期利益	—	—	10,734	8	10,742
その他の包括利益	68	24,907	24,907	97	25,004
四半期包括利益	68	24,907	35,641	105	35,746
転換社債型新株予約権付社債の転換	—	—	60	—	60
自己株式の取得	—	—	△0	—	△0
自己株式の処分	—	—	0	—	0
配当金	—	—	△7,310	—	△7,310
利益剰余金への振替	△3	△3	—	—	—
所有者との取引額等合計	△3	△3	△7,250	—	△7,250
2022年6月30日 残高	3,738	78,362	567,001	2,930	569,931

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	19,603	14,274
減価償却費及び償却費	10,692	11,875
受取利息及び受取配当金	△373	△369
支払利息	384	440
固定資産除売却損益 (△は益)	△70	4
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	2,558	31,558
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△24,222	△33,877
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	9,359	△9,894
その他	△5,287	△13,604
小計	12,644	407
利息の受取額	229	283
配当金の受取額	160	112
利息の支払額	△373	△450
法人所得税の支払額	△343	△7,666
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,317	△7,314
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△338	4,203
有形固定資産の取得による支出	△11,952	△82,392
有形固定資産の売却による収入	324	370
無形資産の取得による支出	△395	△302
有価証券の取得による支出	△147	△291
有価証券の売却及び償還による収入	1,816	280
その他	△39	171
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,731	△77,961

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	5,048	65,543
長期借入金の返済による支出	△666	△616
自己株式の処分による収入	1	0
自己株式の取得による支出	△2,096	△0
配当金の支払額	△8,947	△7,310
リース負債の返済による支出	△1,187	△1,948
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,847	55,669
現金及び現金同等物に係る換算差額	64	7,193
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,197	△22,413
現金及び現金同等物の期首残高	165,479	163,588
現金及び現金同等物の四半期末残高	159,282	141,175

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結
	機械 加工品	電子 機器	ミツミ 事業	ユーシン 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	44,090	90,435	76,753	36,869	158	—	248,305
セグメント間の売上高	1,868	2,552	7,598	25	489	△12,532	—
合計	45,958	92,987	84,351	36,894	647	△12,532	248,305
セグメント利益 又は損失(△)	10,918	7,886	5,085	△83	△535	△3,643	19,628
金融収益	—	—	—	—	—	—	512
金融費用	—	—	—	—	—	—	537
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	19,603

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結
	機械 加工品	電子 機器	ミツミ 事業	ユーシン 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	46,380	81,446	86,814	36,038	362	—	251,040
セグメント間の売上高	1,513	1,722	5,212	116	891	△9,454	—
合計	47,893	83,168	92,026	36,154	1,253	△9,454	251,040
セグメント利益 又は損失(△)	10,198	197	9,124	△342	△364	△4,558	14,255
金融収益	—	—	—	—	—	—	463
金融費用	—	—	—	—	—	—	444
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	14,274

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自社製機械が主な製品であります。

2. 調整額の内容は、次のとおりであります。

セグメント利益又は損失に係る調整額は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費等の全社費用であります。

3. 報告セグメントの変更については、次のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間より、会社組織変更を行った結果、「その他」と「調整額」で一部区分を変更しております。

前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の区分に基づき作成したものを開示しております。